

【北海道農業協同組合中央会 健康経営宣言】

北海道農業協同組合中央会は、農業と地域社会に根差した協同組合の一員として、JA綱領を基本理念に据え、持続可能な北海道農業・安心して暮らせる豊かな地域社会・JA経営の確立への貢献を基本使命に掲げています。

基本使命を実現するためには、全ての職員がその能力を最大限に発揮できるよう、心と身体がともに健康で、活力に満ち溢れる職場づくりが重要であり、「第5次中期計画（令和4～6年度）」および「人事労務基本方針」において「健康経営の実践」を定めています。

本会は、役職員の健康保持・増進のため、以下の様々な取り組みを通じて、健康経営を推進することを宣言します。

【健康経営宣言 取組内容】

1. 検診を100%受診します
2. 健康結果の活用をします
3. 健康づくり環境を整えます
4. 「食」に取り組みます
5. 「運動」に取り組みます
6. 「禁煙」に取り組みます
7. 「心の健康」に取り組みます

【健康経営の推進に関する体制】

代表理事会長を健康経営推進の責任者とし、総務部が中心となり、安全衛生管理委員会との連携又、産業医や北海道農業団体健康保険組合の保険事業と連携しております。

又、内部会議等において、健康経営の推進についての方針等について報告しております。

